

# 2014年9月期 第3四半期 決算補足説明資料



2014年8月5日 株式会社フィックスターズ (東証マザーズ3687)



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

財務データ数値は、2012年9月期より連結の数値としております。

当社は、2013年4月25日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。また、2014年8月1日付で、株式1株につき5株の株式分割を行っております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たり指標の推移を記載しております。

2013年9月期の四半期売上高および利益については、有限責任あずさ監査法人の四半期レビューおよび監査を受けたものではありません。

① 2014年9月期 第3四半期 決算概要  
2014年 4月 ~ 2014年6月

② 2014年9月期 通期業績予想

③ 当社の成長戦略



1

## 2014年9月期 第3四半期 決算概要

2014年 4月 ~ 2014年6月



2

## 2014年9月期 通期業績予想



3

## 当社の成長戦略



## 業績

### ■ 通期予想達成にむけて計画通り**好調に推移**

累計売上高：**21.44億円**(達成率 **77%**、前年同3Q累計比 **86%増**)  
累計営業利益：**3.46億円**(達成率 **85%**、前年同3Q累計比 **113%増**)  
累計経常利益：**3.28億円**(達成率 **85%**、前年同3Q累計比 **94%増**)

## セグメント別 概況

### ■ ソフトウェア・サービス事業

高速化サービス、ストレージ分野ともに**好調**  
みずほ証券デリバティブシステムを30倍高速化 (6月2日発表)

### ■ ハードウェア基盤事業

第1~第2四半期に引き続き**演算ボード販売が堅調**

## 自社製品開発 状況

### ■ ソフトウェア・ライブラリ『M<sup>3</sup> (エム・キューブ) 』

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) の  
支援事業採択により開発を加速 (5月15日発表)

### ■ 高速ストレージ

当初計画に沿って開発順調 (7月23日にサンプルボード提供開始を発表)



# 2014年9月期 第3四半期 決算概要

- 売上高 : 第3四半期累計で **前年同3Q累計比 86%増**
- 営業利益 : 第3四半期累計で **前年同3Q累計比 113%増**
- 経常利益 : 第3四半期累計で **前年同3Q累計比 94%増**
- **第3四半期累計で、前年通期業績を大幅に上回る結果に**

(単位：百万円)

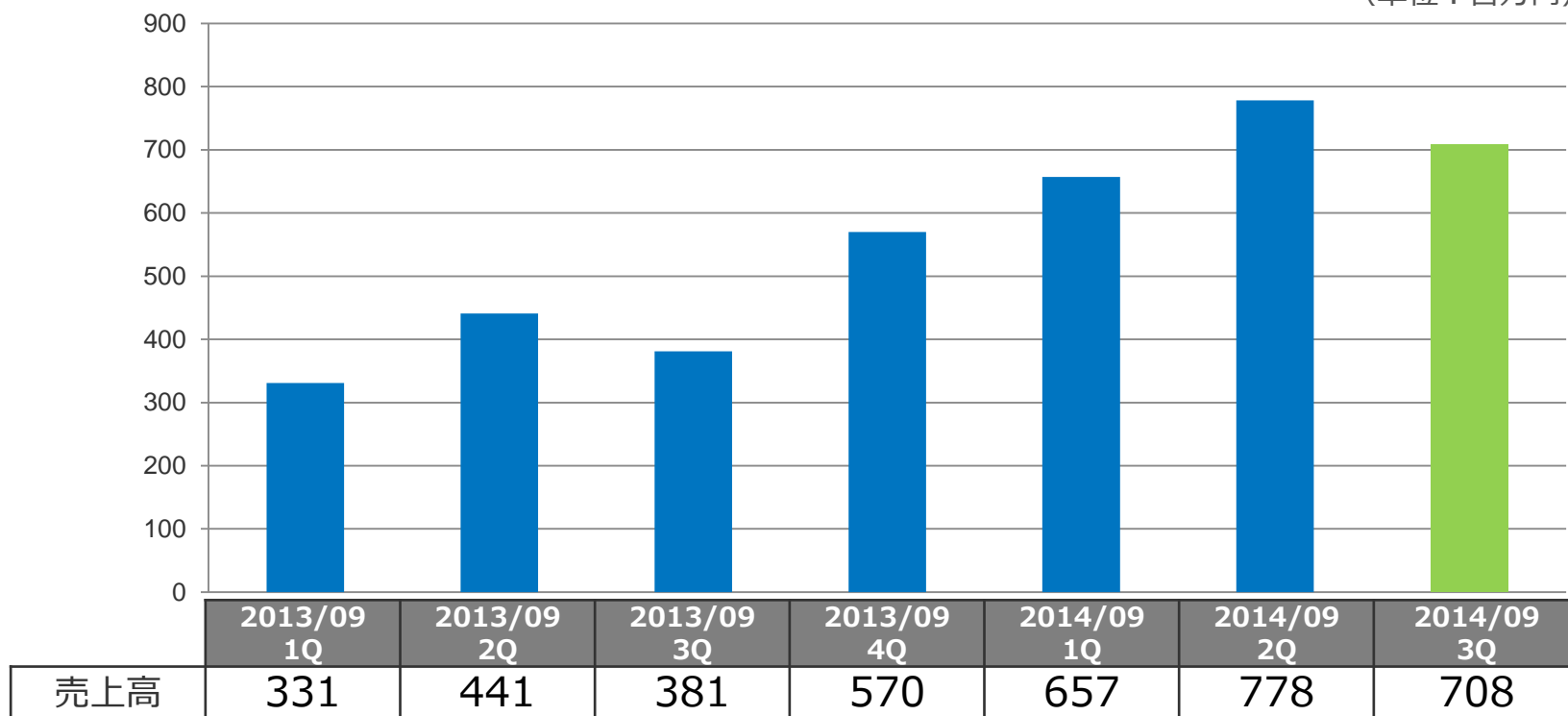
項目	2014年9月期実績				2014年 9月期 通期予想	2013年9月期 実績 (参考)	
	第1四半期 2013年 10月~12月	第2四半期 2014年 1月~3月	第3四半期 2014年 4月~6月	第3四半期 累計		第3四半期 累計	通期
売上高	657	778	708	2,144	2,794	1,154	1,725
営業利益	142	125	78	346	408	162	253
売上高 営業利益率	21.6%	16.1%	11.1%	16.1%	14.6%	14.1%	14.7%
経常利益	144	116	67	328	388	169	257
売上高 経常利益率	21.9%	15.0%	9.5%	15.3%	13.9%	14.7%	14.9%
当期純利益	87	74	40	201	237	110	169

# 業績推移 - 売上高 -

- 第3四半期(2014/4~6) : 7.08億円 (前年同3Q(2013/4~6)比 86%増)
- 第3四半期累計 : 21.44億円 (前年同3Q累計比 86%増)

## 四半期売上高の推移

(単位 : 百万円)



※お客様の予算が、1年を上期と下期に分けた9月と3月の半期末を区切りとするものが多いため、特定の期間（当社2Qおよび4Q）にて業績の偏重が発生します。

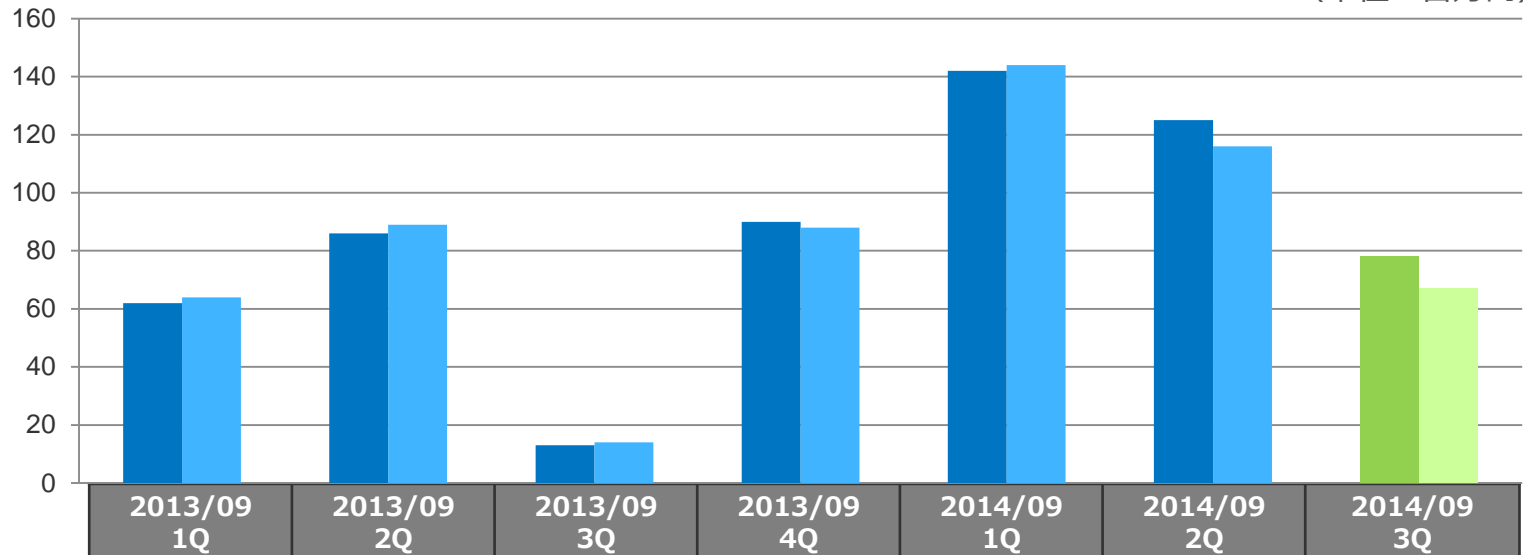


# 業績推移 – 営業利益・経常利益 –

- 第3四半期(2014/4~6) : 営業利益 78百万円 (前年同3Q(2013/4~6)比 477%増)  
 経常利益 67百万円 (前年同3Q(2013/4~6)比 362%増)
- 第3四半期累計 : 営業利益 3.46億円 (前年同3Q累計比 113%増)  
 経常利益 3.28億円 (前年同3Q累計比 94%増)
- 期間偏重による売上高減少、および、年間計画に即した費用発生(上場関連費用・投資拡大(研究開発費・採用費))により、第1、第2四半期比で利益減少

## 四半期利益の推移

(単位: 百万円)



営業利益	62	86	13	90	142	125	78
経常利益	64	89	14	88	144	116	67



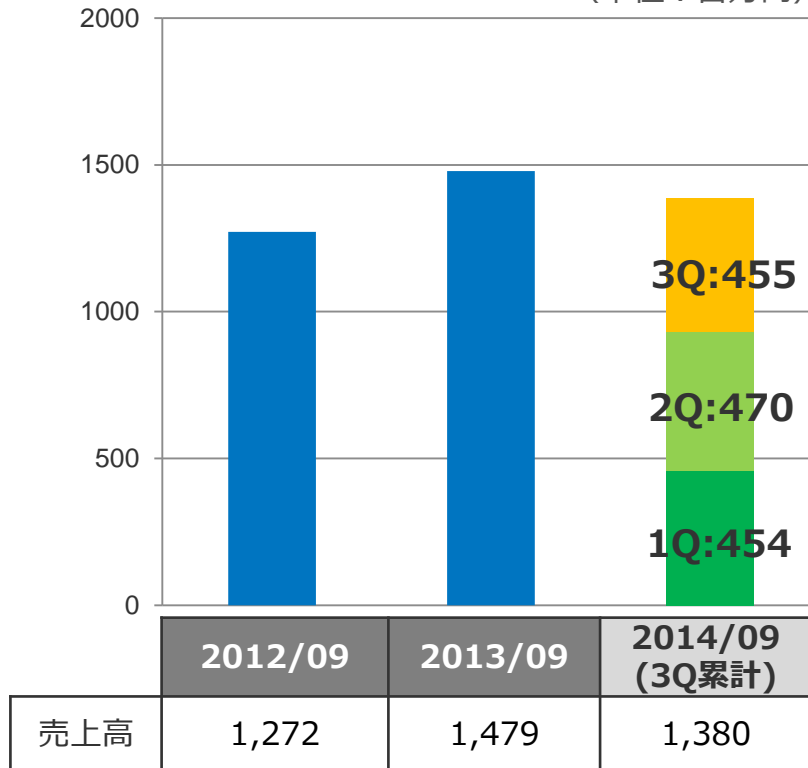


# 業績推移 - ソフトウェア・サービスセグメント -

- 売上高：第3四半期(2014/4~6) 4.55億円、第3四半期累計 13.80億円
- 利益：第3四半期(2014/4~6) 49百万円、第3四半期累計 2.74億円
- **第3四半期累計で、前年通期売上高の93%、前年通期利益の94%に到達**
- 年間計画に即した費用発生の影響により、第2四半期比で利益減少

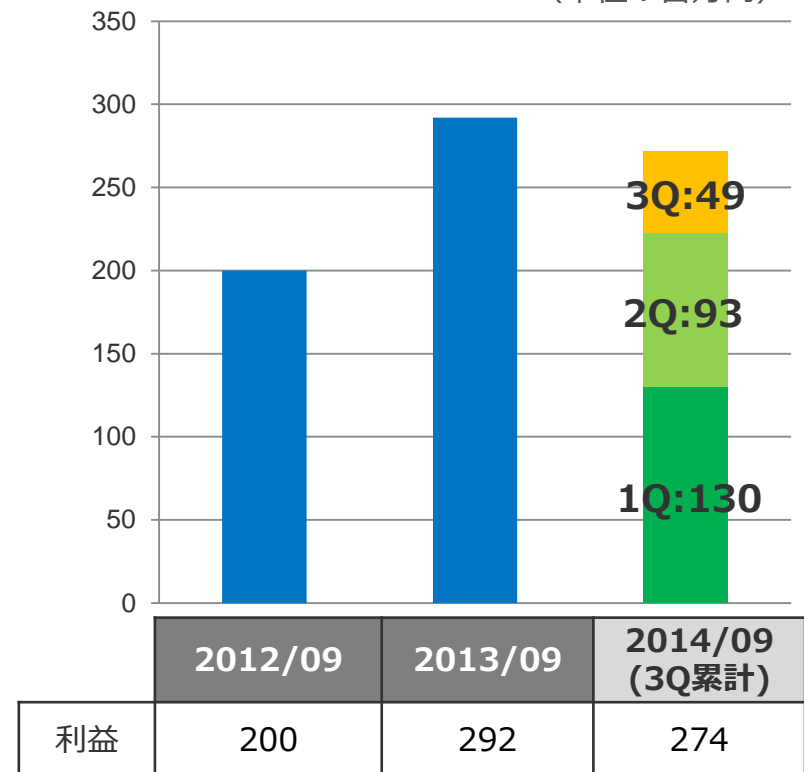
### 売上高 (累計)

(単位：百万円)



### セグメント利益 (累計)

(単位：百万円)

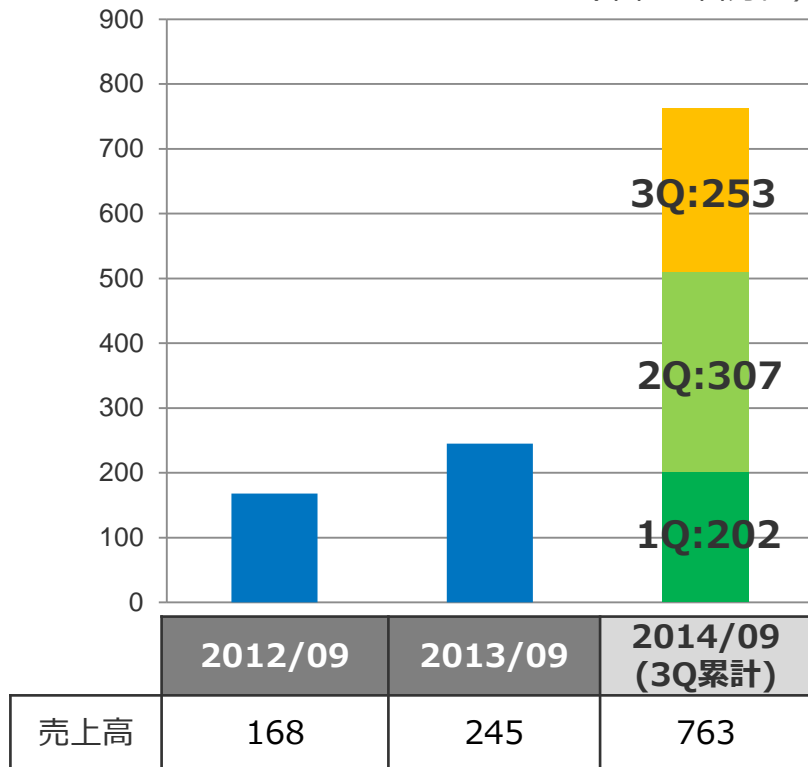


# 業績推移 - ハードウェア基盤セグメント -

- 売上高：第3四半期(2014/4~6) 2.53億円、第3四半期累計7.63億円
- 利益：第3四半期(2014/4~6) 28百万円、第3四半期累計72百万円
- **第3四半期累計で、売上高が前年通期実績を大幅超(前年通期の311%に到達)**

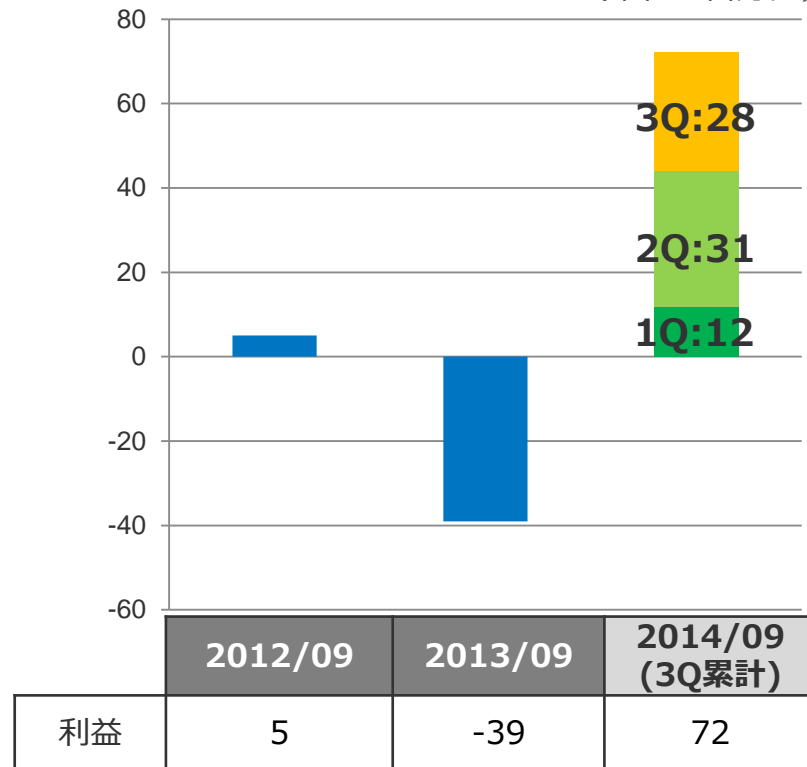
売上高 (累計)

(単位：百万円)



セグメント利益 (累計)

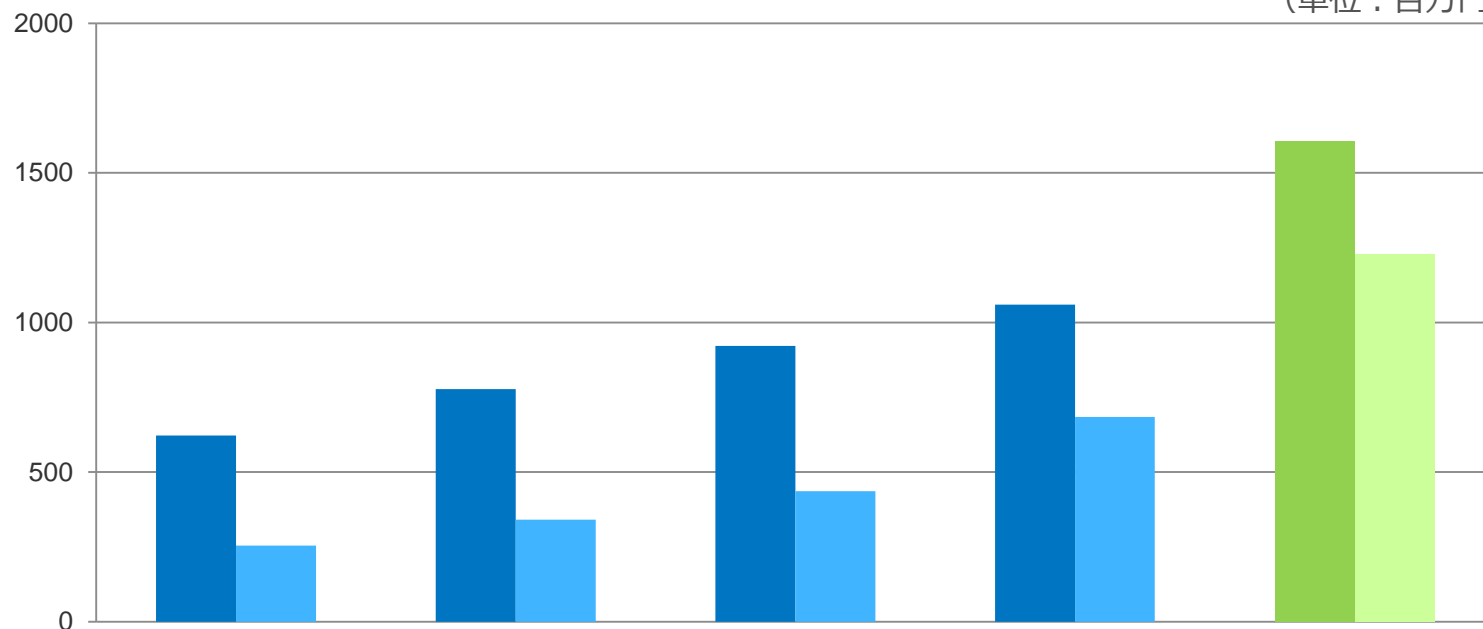
(単位：百万円)



# 業績推移 — 総資産 —

- 総資産：16.06億円
- 純資産：12.29億円
- 自己資本比率：76.5%

(単位：百万円)



	2010/09	2011/09	2012/09	2013/09	2014/09(3Q)
総資産	622	777	921	1,060	1,606
純資産	254	341	436	684	1,229



1

## 2014年9月期 第3四半期 決算概要

2014年 4月 ~ 2014年6月



2

## 2014年9月期 通期業績予想



3

## 当社の成長戦略



## 業績

- 2014年9月期は、**大幅な増収・増益**の見込み  
売上高：**27.94億円**（前年比**61.9%増**）  
営業利益：**4.08億円**（前年比**61.2%増**）

※第3四半期累計の収益増については、年間計画にて想定範囲内の乖離のため、通期業績予想は据え置き

## セグメント別事業

- ソフトウェア・サービス事業  
高速化サービス、ストレージ分野向けサービスともに、**引き続き好調**となる見通し
- ハードウェア基盤事業  
引き続き**演算ボード販売が好調**の見込み

## 自社製品開発

- ソフトウェア・ライブラリ『M<sup>3</sup>（エム・キューブ）』  
医療機器、画像認識といった画像処理が必要となる産業分野に特化し実用化にむけて開発を促進
- 高速ストレージ  
『SSD-3000M』の2014年内販売開始にむけ営業活動および製品化を推進



# 2014年9月期 通期業績予想

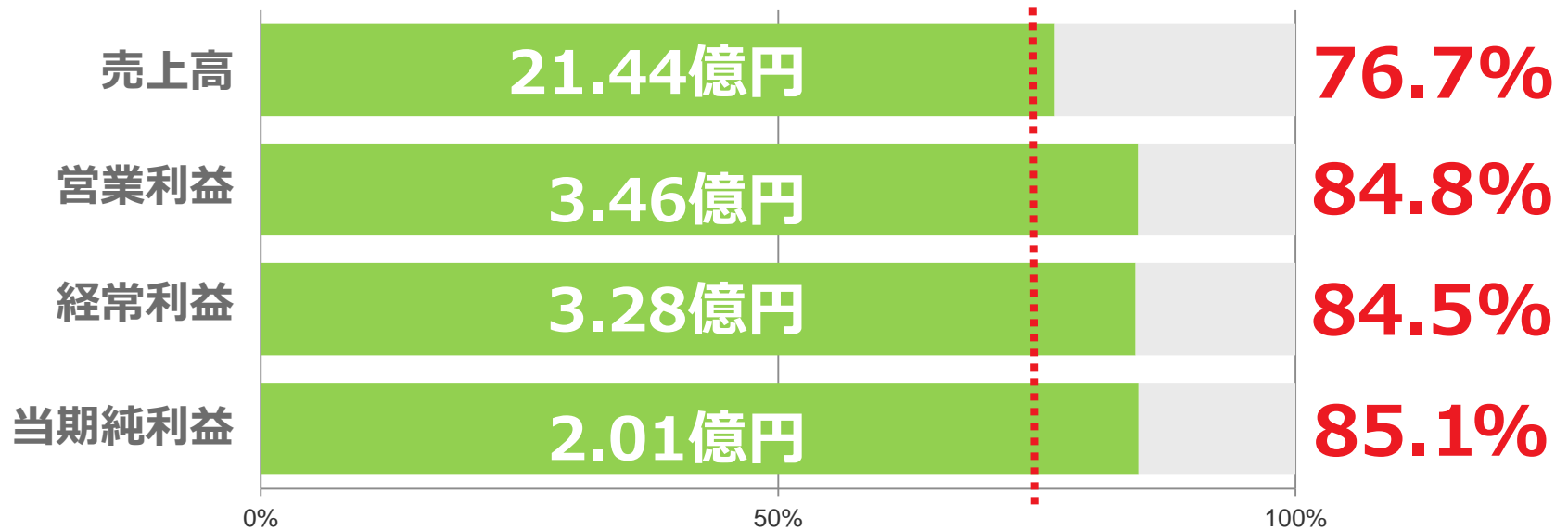
- 売上・利益とも、前年通期比で**大幅な増収増益の見込み**
- 業績予想達成に向けて**順調に推移**

(単位：百万円)

項目	2014年9月期				2013年9月期 通期実績 (参考)
	通期予想	前年比 成長率	第3四半期 累計	進捗率	
売上高	2,794	<b>+61.9%</b>	2,144	<b>76.7%</b>	1,725
営業利益	408	<b>+61.2%</b>	346	<b>84.8%</b>	253
売上高 営業利益率	14.6%		16.1%		14.7%
経常利益	388	<b>+50.7%</b>	328	<b>84.5%</b>	257
売上高 経常利益率	13.9%		15.3%		14.9%
当期純利益	237	<b>+40.0%</b>	201	<b>85.1%</b>	169

# 2014年9月期 通期業績予想

## 2014年9月期 業績予想の進捗率



## 配当予想

	1株当たり 年間配当金	増配率 (前年比)	1株当たり 当期純利益(参考)
2014年9月期 配当金予想	11円	+83%	40円21銭
2013年9月期 配当金	30円		30円86銭

当社は2014年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2014年9月期の配当金額は、分割後の株数で算出しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の配当金額は、55円00銭であります。



1

## 2014年9月期 第3四半期 決算概要

2014年 4月 ~ 2014年6月



2

## 2014年9月期 通期業績予想



3

## 当社の成長戦略





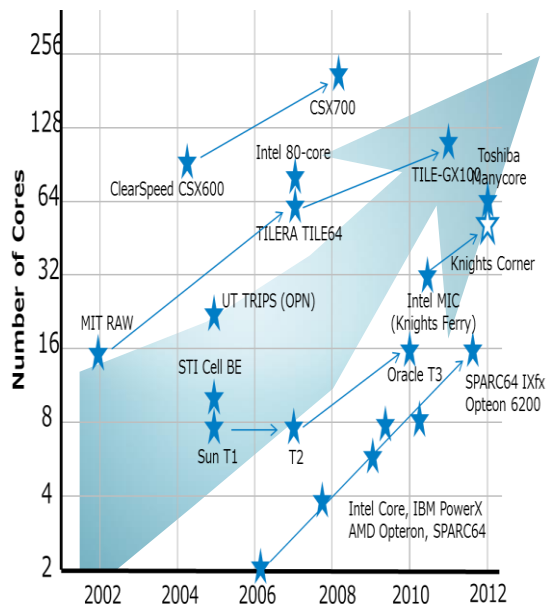
## フィックスターズとは？

<b>事業内容</b>	マルチコアプロセッサ関連事業	 <p>本社：品川区大崎</p>
<b>設立</b>	2002年8月	
<b>資本金</b>	4億5,096万円（2014年6月末 現在）	
<b>社員数</b>	121名（2014年6月末 現在）	
<b>所在地</b>	本社（大崎）、大船	
<b>代表取締役</b>	代表取締役会長 - 長谷川 智彦 代表取締役社長 CEO - 三木 聡	
<b>子会社</b>	Fixstars Solutions, Inc.（米国カリフォルニア州、100%子会社）	
<b>主な取引先</b>	東芝、キャノン、日立メディコ、日立ハイテクノロジーズ、オリンパス、みずほ証券、伊藤忠テクノソリューションズ、宇宙航空研究開発機構、日本原子力研究開発機構など	

**マルチコアプロセッサ／フラッシュメモリを駆使した  
高速処理のソフトウェア・パートナーです**

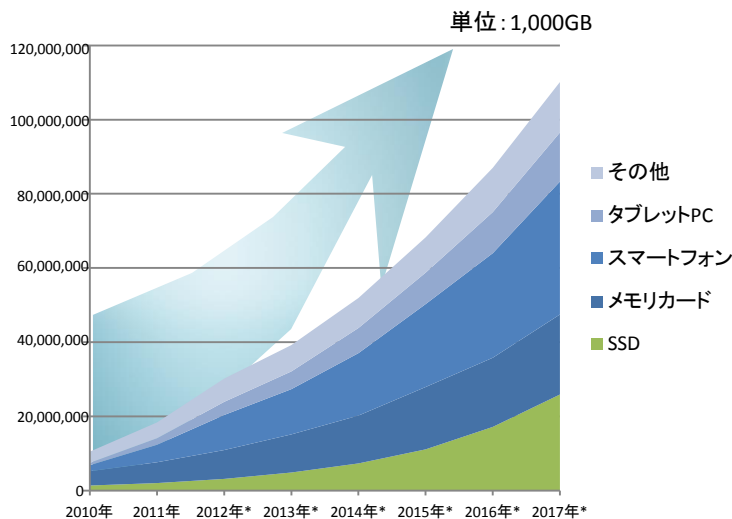
# 当社市場の成長性:ITパラダイムシフト

## マルチコア化



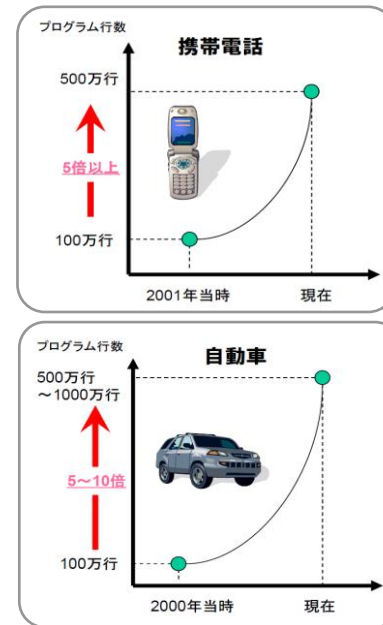
複雑性の増加

## メモリ高速化



高速ソフトが重要に

## ソフトウェアの巨大化



ソフト技術が必須

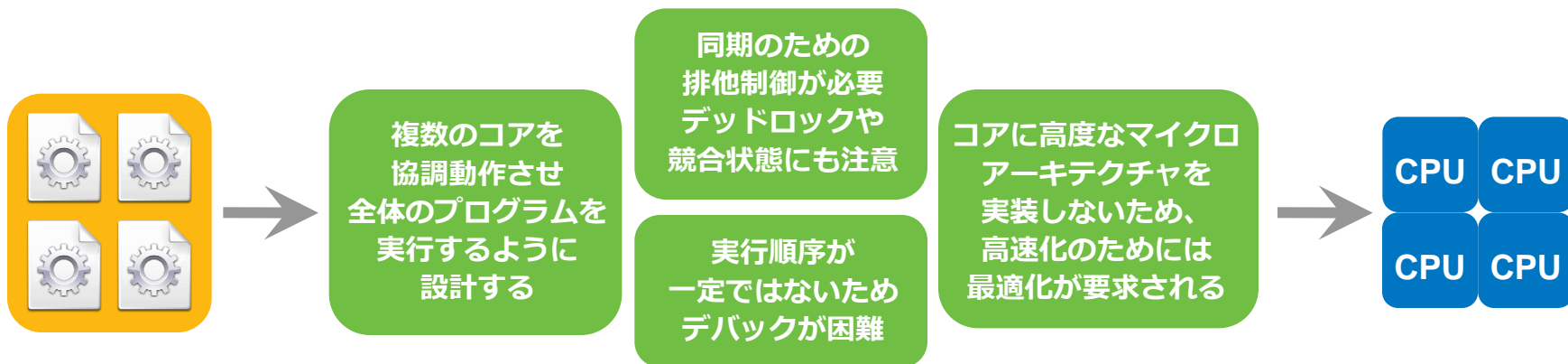
ITパラダイムシフトの先頭に立ちソフトウェア技術で市場をリードしています

# なぜマルチコアプログラミングが難しいか？

## シングルコアプログラミング



## マルチコアプログラミング



コアの同期や最適化など、様々な困難がある

# フラッシュメモリのメリット・デメリット

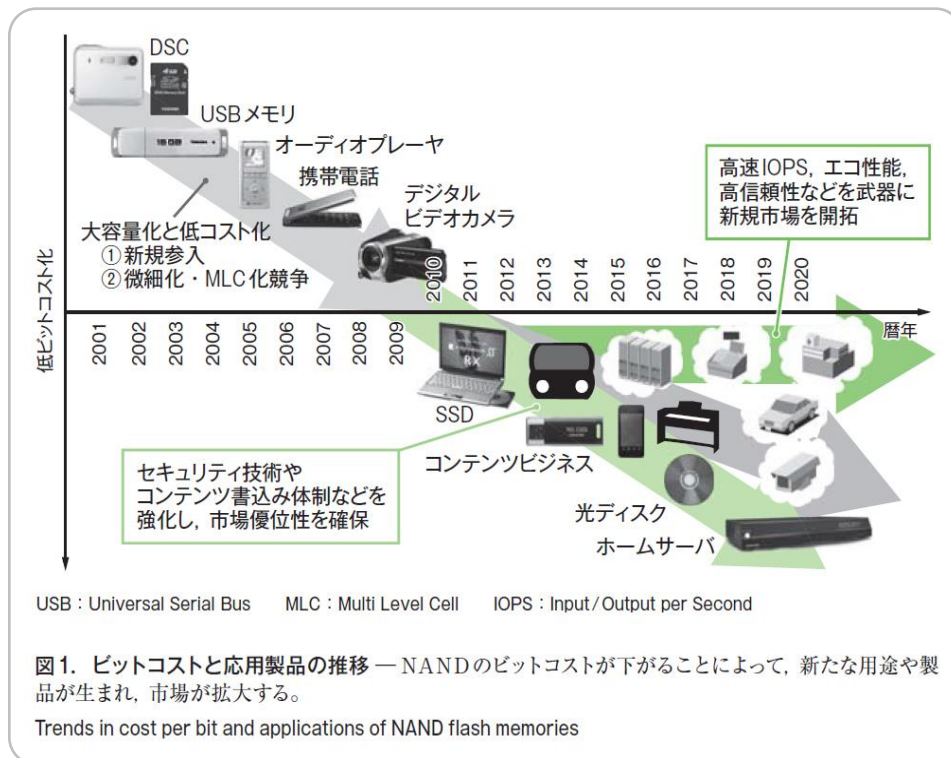
## 用途を狭めていた数々のデメリット

### 長所 メリット

- 読み書き速度 (I/O) が速い
- 軽量、省スペース
- 発熱が少ない、省電力
- 静か

### 短所 デメリット

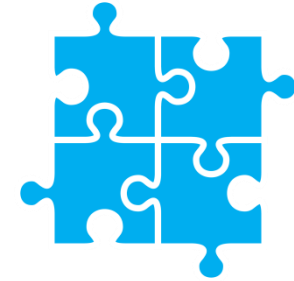
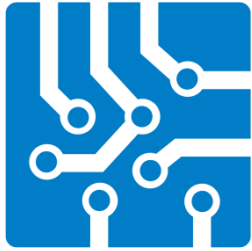
- 寿命に限界
- データの保存期間に限界
- 容量当たりの単価が高い



「半導体不揮発性メモリの技術動向と展望」東芝レビューvol.66, No.9 (2011) より

フラッシュメモリのデメリットをソフトウェアで解消したことで用途拡大

# 当社のビジネス：M<sup>3</sup>（エム・キューブ）



マルチコア/マルチノード  
最適化技術

メモリ/I/O  
高速化技術

マルチアーキテクチャ  
サポート



ソフトウェア・サービス事業

ハードウェア基盤事業

高速処理：商品・ビジネスの刷新とエネルギー削減を実現します

マルチコア・メモリの高速化が活きる産業分野に注力



## ヘルスケア

画像検査装置  
ゲノム解析



## 産業機器

PLC、自動車  
画像検査装置



## モバイル

モバイル用  
ストレージ・メモリ  
イメージセンサー



## 金融

デリバティブ  
リスク計量  
マーケット情報管理

専門性を活かし、拡大する得意分野に集中します

## ① ソフトウェア・サービス：高速化サービス



弊社

オリジナルソースコードのご提供

最適化サービス



お客様

コンサルティング

移植・最適化

サポート

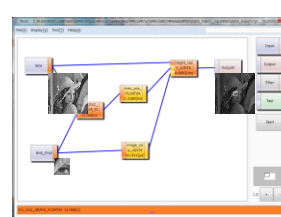
- 性能評価
- ボトルネックの特定
- ハードウェア選定
- マルチコアへの移植
- ソフトウェア最適化
- レポート
- 実製品への組み込み支援
- 技術トランスファー
- ハードウェア提供

製造業・金融業を中心にマルチコアの性能を高く発揮

## ② 高速処理システムを容易に実現するライブラリ『M<sup>3</sup>』

### M<sup>3</sup> (エム・キューブ)

- ノウハウを集結させた高速ライブラリ
- 最先端の各種マルチコアハードウェアに対応
- 移植性の高い高速ライブラリ



開発サポートツール

高速ソフトウェア・ライブラリ

応用処理

基本処理

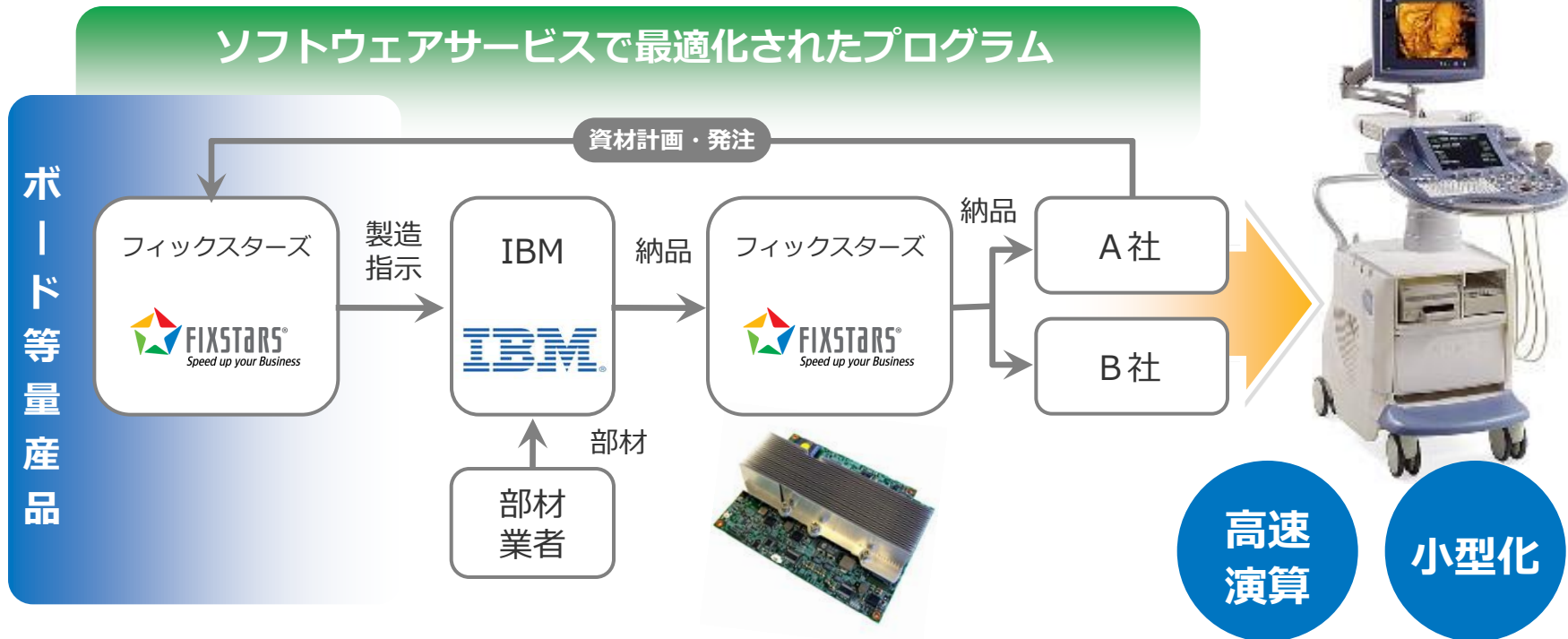


マルチコア・ハードウェア

短期間でお客様のシステムを高速化することが可能



## ③ハードウェア基盤販売



最適な機器を選定して提供し、  
ソフトサポートとハイブリッドでWin-win関係を構築

**技術****マルチコアNo.1 そしてメモリでもNo.1に**

- **マルチコアプログラミングの分野の先駆者**
- マルチコアに関する人材、情報の集積
- **東芝との連携により、メモリの分野でもNo.1に**

**人材****スーパープログラマ集団**

- 博士率 13%、院卒率 50%、著名大学出身者多数  
(京都大・慶應大8名、東工大7名、東大6名など)
- ICFP Programming Contest (プログラミングコンテスト) にて、**世界2位**
- 9割超のエンジニア比率

**顧客  
基盤****トップ企業との直接取引**

- **東証一部企業比率76.3%**  
売上上位20社のうち15社が東証一部上場会社及びその子会社
- ほぼ全件直接取引 (商社・販売店経由除く)
- トップ企業との直接取引、コアな開発  
→ **情報の集積とチャレンジングなプロジェクト**

# ★ ナンバーワンブランド戦略：強みを活かし成長を加速

優れた  
エンジニア集団

マルチコア、GPU/FPGAで  
この規模の集団は皆無

メモリコントローラの  
分野でも随一

世界メーカーの最先端  
中核の開発パートナー

ワクワク・ドキドキする仕事、  
最先端の情報、チャレンジ

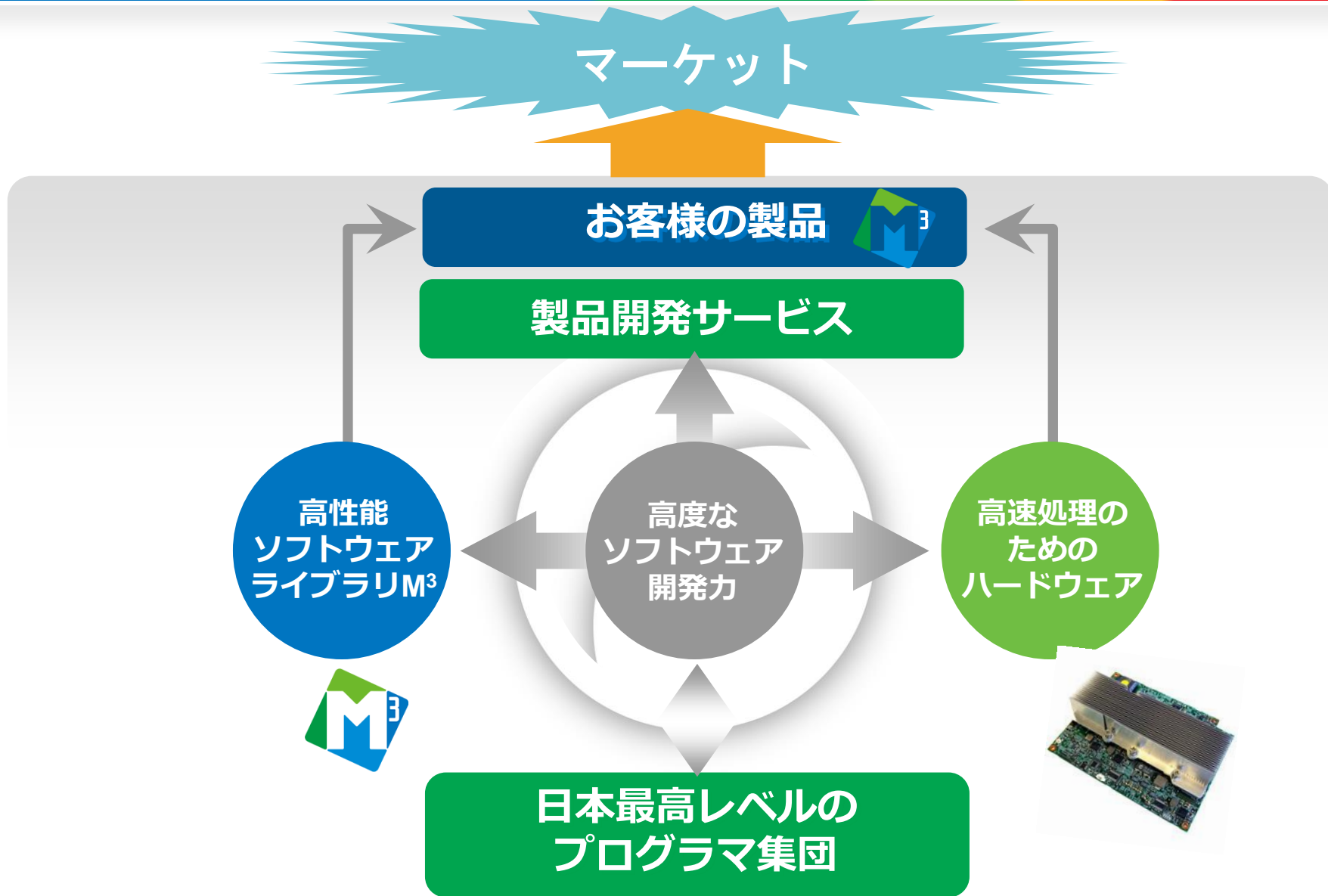
デバイスメーカーが積極的に  
情報提供 → 評価、デモ



No.1ブランドの  
スパイラル的な  
向上

ワクワク・ドキドキする仕事、  
最先端情報、エンジニア中心の  
企業文化を目指して  
優秀なエンジニアの集積アップ

# ★ ハイブリッド戦略：製品開発サービス+製品提供



# ★ ハイブリッド戦略によるビジネスの成長

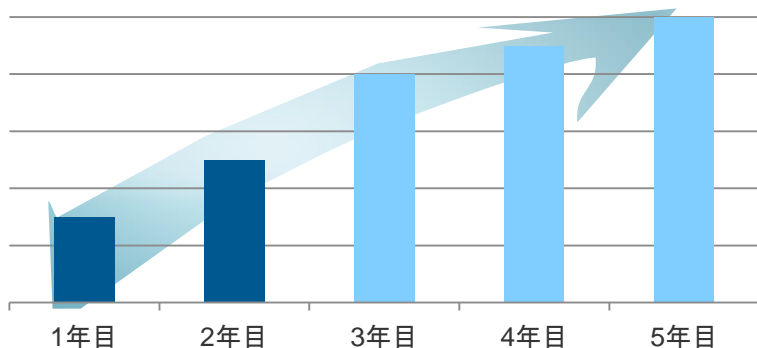
## フロー型収益+ストック型ビジネスの実現

長期的な収益の確保

フィクスターズの提供サービス

高速ソフトウェア  
製品開発サービス

ハードウェア/ソフトウェア  
ライブラリの販売・サポート



共同研究

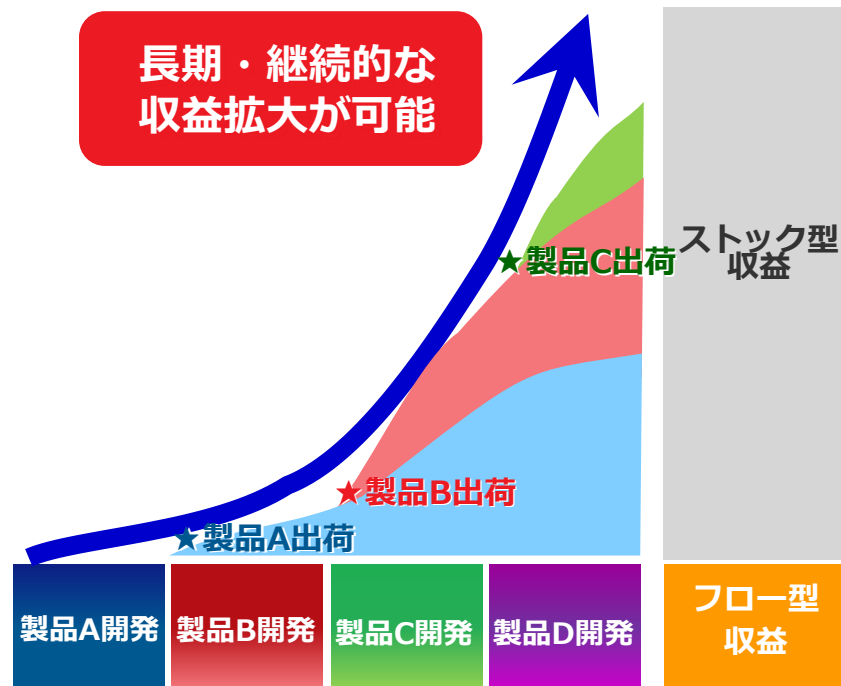
高速化・開発

部材提供・保守

お客様の製品ライフサイクル

プロジェクト増に伴うストック型ビジネスの増加

長期・継続的な  
収益拡大が可能



お客様のビジネスと共に成長

NAND Flash向けソフトウェア開発で得た知見を活かし、  
産業機器向けフラッシュストレージ製品をパートナー企業と共同企画開発

## 製品ラインナップ

USBメモリタイプ



2.5"ドライブタイプ



PCIeボードタイプ



ローエンド

ハイエンド

既存製品に比べ、大容量、高速転送を実現する  
カスタマイズ可能なフラッシュストレージ製品

# ★ 高速ストレージ「SSD-3000M」

3TBの圧倒的な大容量SSD ★

高速シーケンシャルライト ★

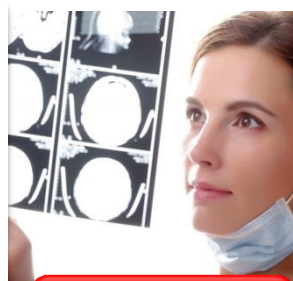
顧客ベータテスト開始 ★  
2014年内に販売開始予定



4K映像  
制作／放送



ハイスピード  
カメラ



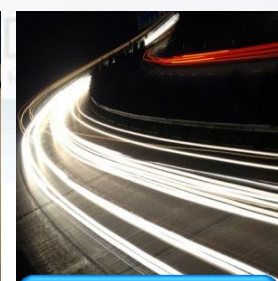
医療画像  
診断装置



ビッグデータ



セキュリティ  
デバイス



モバイル  
データ通信



ソフトウェア技術を通じて  
全社員の幸福および全てのお客様の成功を追求し、  
フィックスターズの技術を活かして  
全世界のしあわせ向上に貢献すること

ありがとうございました